



# 「持続可能な町政運営を めざした行財政改革」



氷川町長  
藤本 一 臣

あけましておめでとうございます。

皆さまには、ご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

また、日頃より町政運営ならびに地区づくり活動に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、九州北部豪雨および相次ぐ台風襲来による関東・東北地方の河川の氾濫など、全国各地で自然災害が発生し、尊い命と貴重な財産が奪われました。被災された皆さまに衷心よりお見舞いを申し上げます。一方、氷川町においては、大雨や台風などによる自然災害が少なく、比較的穏やかな年であったと感じています。

熊本地震から3年8ヶ月が過ぎ、被災された皆さま方の生活再建の目途が立ちましたので、地域支え合いセンターを3月末で終了いたします。

なお、当時建設された応急仮設住宅につきましては、熊本県から町へ無償譲渡を受けましたので、町有住宅として活用を図ってまいります。

防災行政無線のデジタル化事業も全世帯への戸別受信機の更新を進めておりますが、留守家庭などが未更新でありますので、ご協力をお願いいたします。

ごみ減量化宣言を行い、家庭ごみおよび事業系ごみを削減する取組みを推進しておりますが、今年も生ごみ処理機の普及ならびに資源ごみリサイクルについて、皆さま方のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

小・中学校への空調設備整備事業が計画どおり進捗しており、地球温暖化が進む中、教室における学習環境の改善に役立ててまいります。

2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsの取組みが、官民共同で始まっています。その理念は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現であります。その一環として、ペルー国への支援に向けた古着の収集を実施しましたところ、多くの皆さま方にご協力を頂き、誠にありがとうございました。今後も定期的に収集を行い、支援を続けてまいりますので、更なるご協力をお願いいたします。

氷川町誕生から15年目を迎えますが、2町合併に伴う普通交付税の上乗せ措置が令和2年度で終了し、一般財源の減少が見込まれます。

そこで、第2次氷川町行政改革大綱および実施計画を策定し、財政の健全化を図りながら、より効率的で効果的な町政運営に向けた行財政改革に積極果敢に取り組むとともに、町民の皆さまと連携し、『小さなまちで、大きな幸せを感じる持続可能な田園都市・氷川』を創造するため、その先導役として、全身全霊を傾注し努力してまいります。

これからも町民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。新しい年が皆さまや氷川町にとって更に飛躍する最良の年になりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

# 「まちの特性を活かした 活力ある町づくりをめざして」



水川町議会議長  
村 洋

新年明けまして、おめでとうございます。皆さまには、ご家族お揃いで新年を迎えられたこととお喜び申し上げますとともに、日頃より議会活動に対して、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年も全国的には自然災害の多い年でありました。多くの尊い命と財産が奪われた皆さまには衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

そのような中、氷川町においては自然災害は少なく、平穏な生活を過ごすことが出来たと思っております。

本町の施策については、3期11年目を迎えた藤本町長が先頭に立ち、着実に展開されております。熊本地震を契機に、防災機能の強化を図った災害対策室、一時避難にも対応できる駐車場と防災行政無線のデジタル化が完了しました。現在は防災公園を建設しており、安心安全の確保に向けた環境が進展しています。

ごみ処理については、将来的に八代市の環境センターにおいて処理されることが目指されています。昨年を「ごみ減量化元年」と位置付け、家庭ごみや事業

系ごみを1割削減する取組みが行われました。我々議員一同は、その先導役を担い、率先して生ごみ処理機を購入し、各種団体や家庭への浸透を図っているところであります。

「平成」から「令和」へ改元され、新しい日本が動き出しました。国においては、平成26年に施行された「まち・ひと・しごと創生法」により、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持するための地方創生事業を推進されています。

少子高齢化や人口減少は全国的な傾向です。本町でも氷川町誕生以来、年々人口が減少しておりますが、人口ビジョンおよび総合戦略に基づき、持続できるまちづくりを進めるための施策が展開されています。

氷川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組みに対し、満足度の高いものもありますが、若者の定住や就業促進、企業活動支援や企業誘致促進、公共交通の利便性など、雇用創出による人材の確保がもたらす町の特性を活かした活性化のための具体的な戦略の展開が待たれています。

「小さいまちで、大きな幸せ」を思える活力ある町づくりを目指し、さらなる飛躍と発展のために皆さまのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆さま方にとりましてより良い年であり、また、よう祈念いたしましたして、年頭のご挨拶いたします。